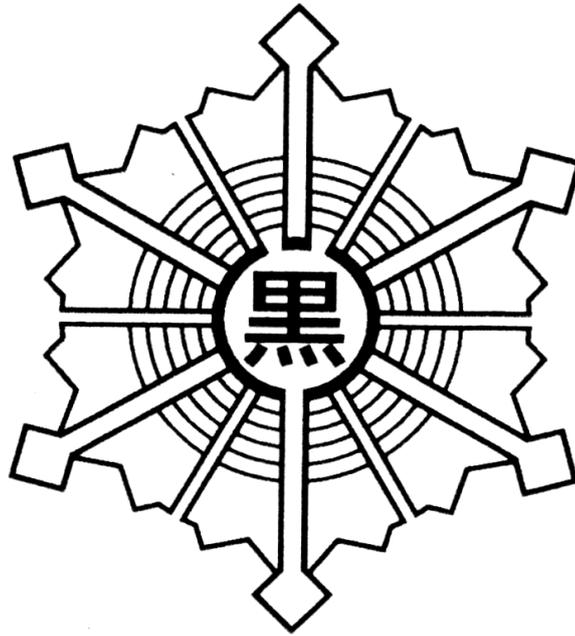


令和6年版

火災・救急・救助統計  
(速報値)



黒川地域行政事務組合消防本部

# 目 次

## 【火災統計】

令和5年の火災概要	1～2
1. 火災総括表	3
2. 市町村別出火率と一世帯当たりの損害額	4
3. 用途別建物火災状況	4
4. 市町村別月別出火状況	5
5. 火災種別月別出火状況	5
6. 市町村別曜日別出火状況	6
7. 火災種別曜日別出火状況	6
8. 火災の出火時刻別状況	7
9. 出火原因別の出火件数	8

## 【救急統計】

令和5年の救急概要	9～11
1. 事故種別月別出場状況	12
2. 事故種別市町村別出場状況	13
3. 市町村別救急出場状況	14
4. 事故種別曜日別出場状況	15
5. 事故種別傷病程度別搬送人員状況	16
6. 事故種別収容所要時間別搬送人員状況	17
7. 管内管外別医療機関等搬送状況	17
8. 救急隊員の行った応急処置の状況	18
9. 年次別自動車専用道救急状況	19
10. P A 連携出場状況	20
11. P A 連携活動状況	20
12. 救命講習普及啓発活動状況	21
13. 年次別救命講習普及啓発活動状況	22

## 【救助統計】

令和5年の救助概要	23～24
1. 事故種別月別救助出場・活動状況	25
2. 事故種別市町村別救助出場・活動状況	26
3. 事故種別曜日別救助出場状況	26
4. 救出所要時間状況	27
5. 傷病程度別状況	27

# 令和5年の火災概要

令和5年中における火災の状況をみると、出火件数は37件で死者はなく、負傷者は4人発生している。損害額は38,958千円、建物焼損床面積1,060㎡、建物焼損表面積24㎡、建物焼損棟数23棟、り災世帯数10世帯、り災人員21人、林野の焼損面積は31aとなっている。

これを前年と比較すると、出火件数は7件の増加で、うち建物火災は前年比5件増加の21件、建物火災焼損表面積、建物焼損棟数、り災人員は増加し、損害額、建物火災焼損床面積、林野火災焼損面積は前年より減少した。

## 1. 出火状況

出火件数は37件であり、9.9日（前年12.2日）に1件の割合で火災が発生したことになる。火災種別では、建物火災が最も多く21件（56.8%）、次いでその他の火災11件（29.7%）、林野火災3件（8.1%）、車両火災2件（5.4%）となっている。

出火件数を市町村別にみると、大郷町が14件（37.9%）と最も多く、次いで富谷市・大和町が8件（各21.6%）、大衡村が7件（18.9%）となっている。

## 2. 出火率

出火率（人口千人当たりの出火件数）をみると、管内平均は0.40であり、前年より0.08ポイント高くなっている。

これを市町村別にみると大郷町が1.85と最も高く、次いで大衡村が1.26、大和町が0.29、富谷市が0.15ポイントとなっている。

## 3. 損害額

火災による損害額は38,958千円で、前年と比較し6,468千円の減少となった。火災種別ごとに損害額をみると、建物火災が37,986千円（97.5%）で損害額のほとんどを占め、車両火災が738千円、林野火災が233千円、その他の火災が1千円となっている。また、市町村別にみると大郷町が20,521千円で最も多く、次いで大和町が9,185千円、大衡村が8,745千円、富谷市が507千円となっている。それを一世帯当たりの損害額でみると、大郷町が7,329円で最も多く、次いで大衡村が4,160円、大和町が739円、富谷市が25円となっている。

## 4. 月別出火状況

月別にみると4月が10件（27.1%）で最も多く、次いで3・5月が5件（各13.5%）、6月が4件（10.8%）、8・10月が3件（各8.1%）、2・9月が2件（各5.4%）、1・11・12月が1件（各2.7%）となっている。

## 5. 曜日別出火状況

曜日別にみると、土曜日が8件（21.7%）で最も多く、次いで木曜日が7件（18.9%）、日曜日が6件（16.2%）、火曜日が5件（13.5%）、

水・金曜日が4件（各10.8%）、月曜日が3件（8.1%）となっている。

## 6. 出火時刻別状況

出火時刻別状況を見ると「10時から12時」・「12時から14時」の時間帯が各7件と最も多く、次いで「14時から16時」・「16時から18時」が各4件、「2時から4時」・「6時から8時」・「8時から10時」が各3件となっている。

## 7. 出火原因

出火原因別では、火入れが10件と最も多く、次いでたばこが5件、こんろが2件、電気機器、電気装置、配線器具、火遊び、たき火、溶接機・切断機、衝突の火花、放火、放火の疑い、調査中が各1件、その他が6件となっており、原因不明は4件であった。

### 【まとめ】

令和5年中の火災状況は、出火件数が37件で、昨年と比較し7件の増加となった。損害額は前年比で6,468千円減少している。近年、防火対象物火災が増加傾向にあるため、防火対象物及び危険物施設の計画的な立入検査を実施するとともに、防火管理者等による自律的な防火管理体制の構築を図り、過去の火災事例を教訓とした危険要因の改善指導に努め、指導体制を強化していく。

火災原因としては、火入れ、たばこ等の不注意等による人為的ミスからの火災が多く発生している。日本社会は、少子高齢化社会が加速しているが、管内も同様である。高齢者世帯の増加が社会問題化している中で、関係市町村、消防団員、婦人（女性）防火クラブ員、地域包括支援センター等と連携して、火災予防の啓発、周知を図っていく。また、火災原因の調査及び原因究明のため、火災調査員の育成に努めるとともに、専門教育の実施により正確かつ迅速な調査能力の向上を図っていく。

黒川地域は今後も企業進出が増加すると予想され、就業人口の増加傾向は続いていくものと思われる。このような状況は、火災や災害事故等の発生も複雑多様化し、大規模化することも十分に予想されてくる。そのため、各関係機関や外郭団体と協力のもと、防火研修会や自主防災訓練等をとおして、住宅における防火対策、乾燥時及び強風時の火災発生防止対策、放火防止対策、防火対象物等における防火安全対策の徹底を推進し、「安心で安全なまちづくり」に向けて、防災力の向上を目指していく。

1. 火災総括表

区分 市町村別	出火件数	火災種別				焼損棟数					焼損面積		
		建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m <sup>2</sup> )		林野(a)
											焼損床面積	焼損表面積	
富谷市	8	5	2		1	5		1	4		37	18	26
大和町	8	5			3	5	1			4	188		
大郷町	14	8		2	4	9	2	1	2	4	218	6	
大衡村	7	3	1		3	4	2			2	617		5
計	37 (30)	21 (16)	3 (1)	2 (6)	11 (7)	23 (18)	5 (2)	2 (1)	6 (6)	10 (9)	1,060 (1,216)	24 (8)	31 (812)

( )内は令和4年

区分 市町村別	死傷者		り災世帯				り災人員	損害額(千円)					
	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	その他	
													富谷市
大和町		1	2	1		1	4	9,185	9,185				
大郷町		2	5	1		4	10	20,521	19,783		738		
大衡村		1						8,745	8,569	176			
計		4 (4)	10 (10)	2 (1)	1	7 (9)	21 (20)	38,958 (45,426)	37,986 (42,509)	233	738 (2,546)		1 (371)

( )内は令和4年

## 2. 市町村別出火率と一世帯当たりの損害額

区分 市町村別	世帯数	人口	出火件数		損害額	
			件数	人口千人当たり 出火率	損害額 (千円)	一世帯当たり 損害額(円)
富谷市	20,433	52,418	8	0.15	507	25
大和町	12,427	27,964	8	0.29	9,185	739
大郷町	2,800	7,584	14	1.85	20,521	7,329
大衡村	2,102	5,569	7	1.26	8,745	4,160
計	37,762 (37,479)	93,535 (93,956)	37 (30)	0.40 (0.32)	38,958 (45,426)	1,032 (1,212)

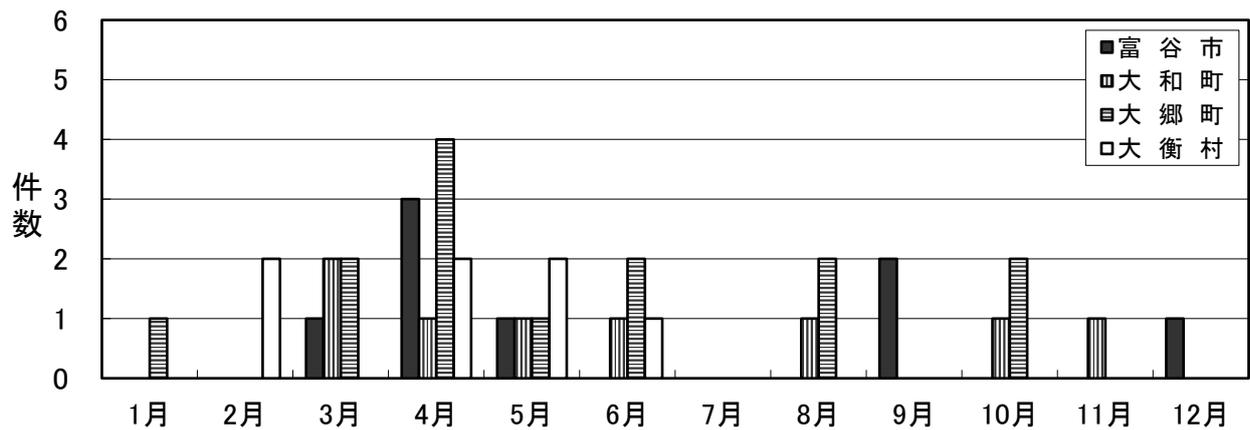
( )内は令和4年

## 3. 用途別建物火災状況

区分 用途別	出火件数	焼損面積(m <sup>2</sup> )		損害額(千円)
		床面積	表面積	
一般住宅 (併用住宅含む)	10	291	12	23,555
非住宅	4	769	0	10,160
防火対象物	7	0	12	4,271
計	21 (16)	1,060 (1,216)	24 (8)	37,986 (42,509)

( )内は令和4年

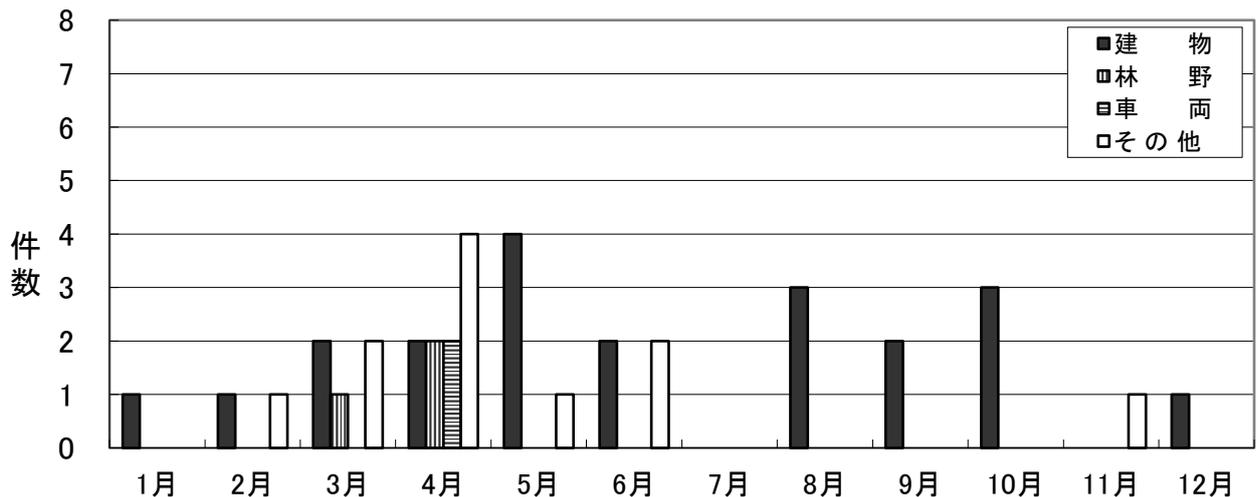
#### 4. 市町村別月別出火状況



市町村別	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
富谷市			1	3	1				2			1	8
大和町			2	1	1	1		1		1	1		8
大郷町	1		2	4	1	2		2		2			14
大衡村		2		2	2	1							7
計	1 (1)	2 (2)	5 (4)	10 (1)	5 (2)	4 (2)	(2)	3 (5)	2	3 (5)	1 (5)	1 (1)	37 (30)

( )内は令和4年

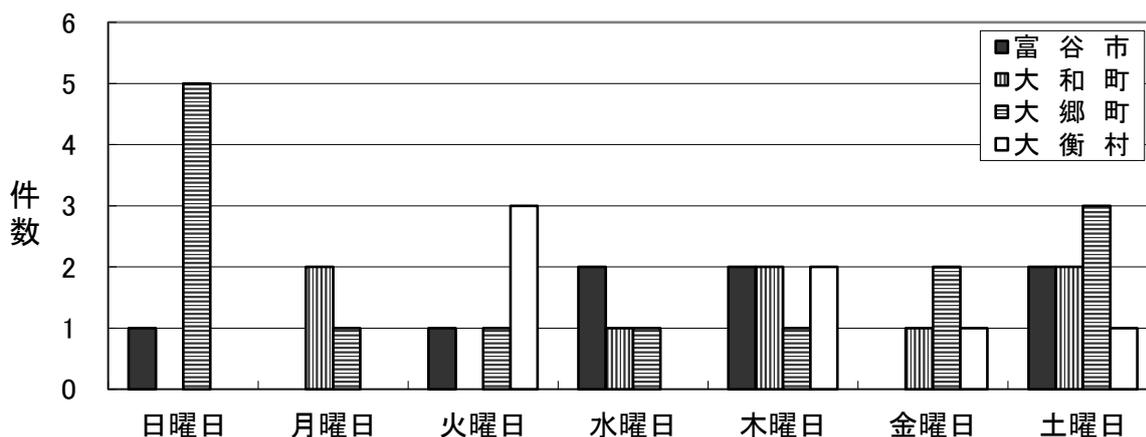
#### 5. 火災種別月別出火状況



火災種別	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
建物	1	1	2	2	4	2		3	2	3		1	21
林野			1	2									3
車両				2									2
その他		1	2	4	1	2					1		11
計	1 (1)	2 (2)	5 (4)	10 (1)	5 (2)	4 (2)	(2)	3 (5)	2	3 (5)	1 (5)	1 (1)	37 (30)

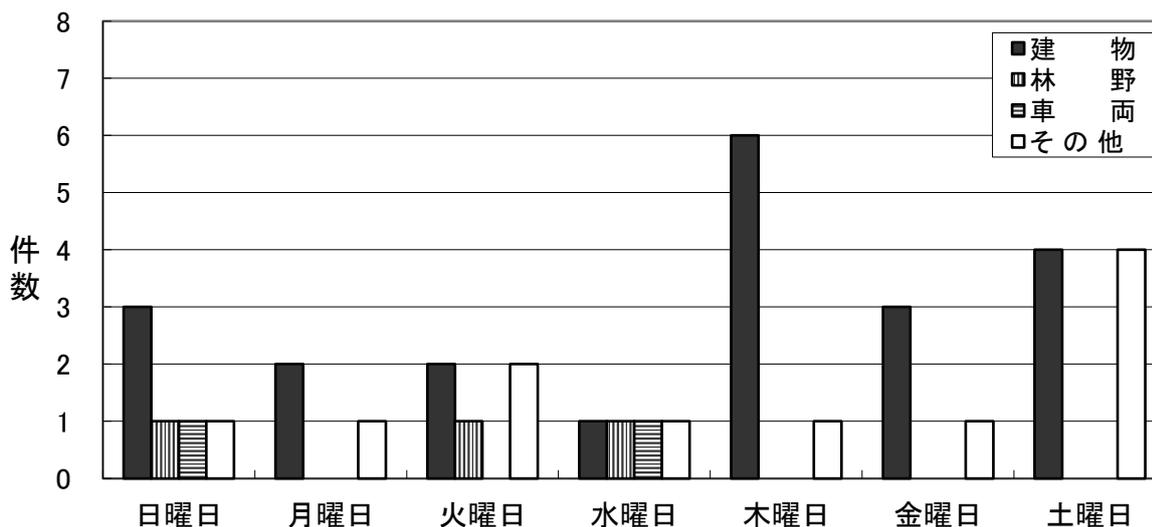
( )内は令和4年

## 6. 市町村別曜日別出火状況



市町村別 \ 曜日別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
富谷市	1		1	2	2		2	8
大和町		2		1	2	1	2	8
大郷町	5	1	1	1	1	2	3	14
大衡村			3		2	1	1	7
計	6	3	5	4	7	4	8	37

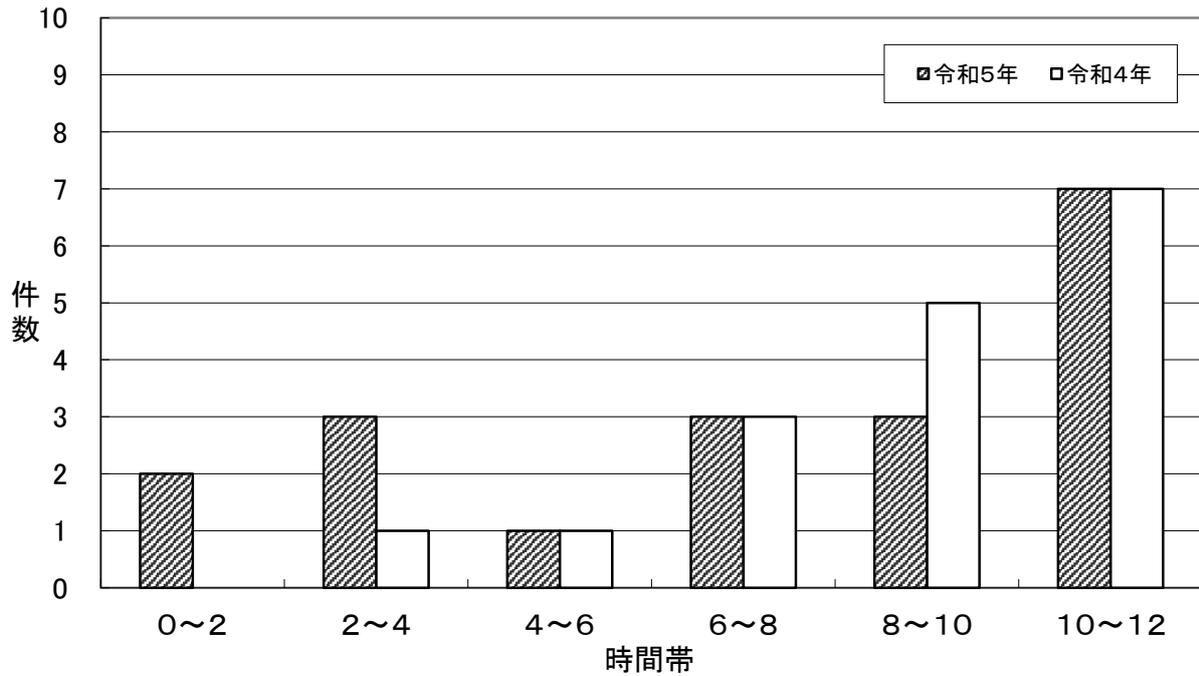
## 7. 火災種別曜日別出火状況



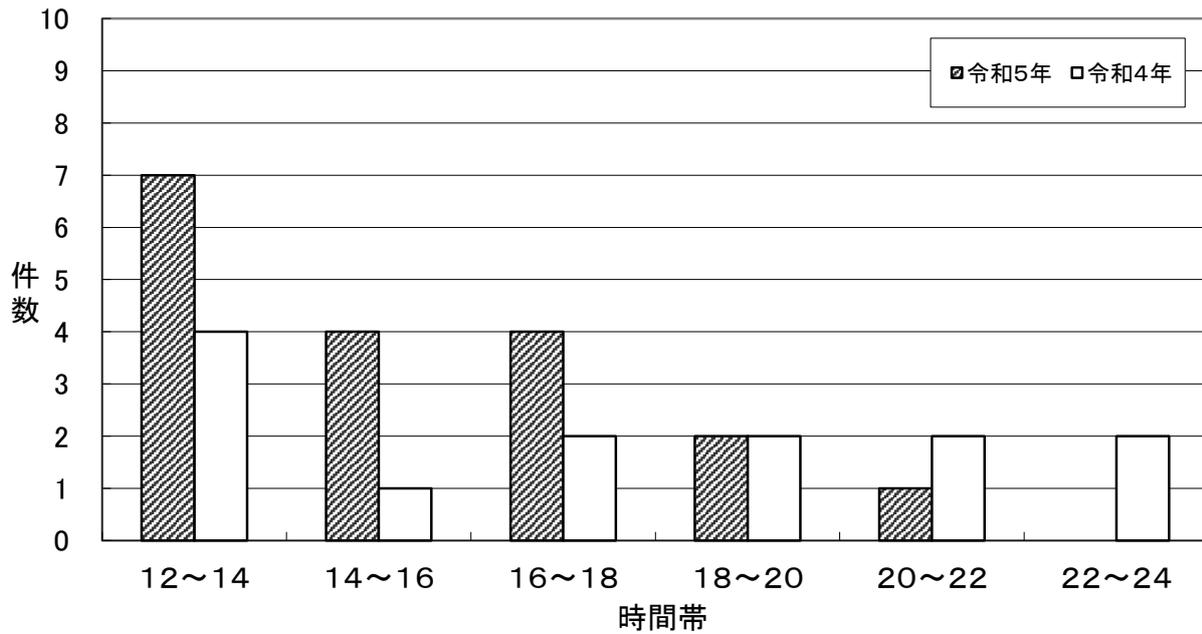
火災種別 \ 曜日別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
建物	3	2	2	1	6	3	4	21
林野	1		1	1				3
車両	1			1				2
その他	1	1	2	1	1	1	4	11
計	6	3 (6)	5 (4)	4 (6)	7 (5)	4 (4)	8 (5)	37 (30)

( )内は令和4年

### 8. 火災の出火時刻別状況



年別 \ 時間別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12
令和5年	2	3	1	3	3	7
令和4年	0	1	1	3	5	7



年別 \ 時間別	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
令和5年	7	4	4	2	1	0
令和4年	4	1	2	2	2	2

## 9. 出火原因別の出火件数

出 火 原 因	件 数
火 入 れ	10
た ば こ	5
こ ん ろ	2
電 気 機 器	1
電 気 装 置	1
配 線 器 具	1
火 あ そ び	1
た き 火	1
溶 接 機 ・ 切 断 機	1
衝 突 の 火 花	1
放 火	1
放 火 の 疑 い	1
そ の 他	6
不 明	4
調 査 中	1
その他の内訳:火のついたゴミ1、その他の裸火1、 ドリルの火花1、その他の火花1、 その他の高温の固体1、 その他の再燃により出火原因となりやすいもの1	
計	37

## 令和5年の救急概要

令和5年中における救急状況をみると、出場件数4,542件(前年4,198件)で、搬送人員4,216人(同3,910人)となっている。これを前年と比較すると、出場件数で344件(8.2%)増加し、搬送人員では306人(7.8%)増加している。

また、※PA連携による出場については429件(前年461件)と32件減少している。

※PA連携とは、救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急・救護活動などを行うことの総称です。消防ポンプ車(Pumper)と救急車(Ambulance)の双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。

### 1. 事故種別出場件数及び搬送人員

出場件数を事故種別ごとにみると、急病が3,015件(66.4%)と半数以上を占め、次いで一般負傷の579件(12.7%)、転院搬送の481件(10.6%)、交通事故の253件(5.6%)と続いており、これら4つの事故種別で全体の95.3%を占めている。

また、搬送人員を事故種別ごとにみると、急病が2,776人(65.8%)と最も多く、次いで一般負傷の545人(12.9%)、転院搬送の481人(11.4%)、交通事故の247人(5.9%)などとなっている。

### 2. 月別出場件数

出場件数を月別にみると、8月が492件と最も多く(1日平均15.9件)、次いで7月の463件(同14.9件)、11月の401件(同13.4件)など続いており、年間による1日平均12.4件の出場件数となっている。また、出場件数で最も少ない月は3月の313件(1日平均10.1件)である。

### 3. 市町村別出場件数及び搬送人員

出場件数を市町村別にみると、富谷市が2,139件(47.1%)で最も多く、次いで大和町が1,547件(34.1%)、大郷町が513件(11.3%)、大衡村が336件(7.4%)、自動車専用道及び管外が7件となっている。

また、搬送人員を市町村別にみると、富谷市が2,000人(47.4%)と最も多く、次いで大和町が1,425人(33.8%)、大郷町が479人(11.4%)、大衡村が307人(7.3%)、自動車専用道及び管外が5人となっている。

### 4. 曜日別出場件数及び搬送人員

出場件数を曜日別にみると、月曜日が679件と最も多く、次いで火曜日が678件と続いている。最も少ない曜日は、水曜日の599件となっている。

また、搬送人員を曜日別にみると、火曜日が636人と最も多く、次いで月曜日が629人と続いており、最も少ない曜日は、水曜日で556人となっている。

## 5. 傷病程度別搬送人員の状況

傷病程度別搬送人員の状況は、中等症が2,326人(55.2%)で最も多く、次いで軽症が1,447人(34.3%)、重症が387人(9.2%)、  
※死亡が55人(1.3%)となっている。

これを前年と比較すると死亡では9人、重症で4人、中等症で218人、軽症では74人増加した。

※死亡：傷病者を救急車で医療機関に搬送し到着直後に医師が死亡と診断したものをいう。

## 6. 収容所要時間別搬送人員の状況

搬送人員を収容所要時間別にみると「30分～60分未満」が2,804人と最も多く、全搬送人員の66.5%を占め、次いで「60分～120分未満」が1,194人、「20分～30分未満」が175人、「120分以上」が34人、「10分～20分未満」が9人となっている。入電から医療機関等まで収容に要する平均時間が53.4分となり前年より2.5分短縮となった。

## 7. 管内管外別医療機関等搬送状況

医療機関への搬送件数を管内管外別にみると、黒川管内が626件で、管内搬送率は15.0%であり、前年より僅かに増加した。管外への搬送件数は3,552件で前年より増加した。その内訳は仙台管内が3,306件で最も多く、全搬送件数の79.1%を占め、次いで大崎管内が175件、塩釜管内が46件などとなっており、依然として仙台管内医療機関への依存度が高まっている状況が続いている。

## 8. 救急隊員の行った応急処置の状況

応急処置対象人員は4,216人で最も多い処置はその他(体温測定含)の処置で4,111件(97.5%)である。応急処置の延べ件数は19,086件となっており、傷病者1人当たり4.5件の処置を行った。

応急処置を内容別でみると、その他(体温測定含)、血中酸素飽和度測定、血圧測定、心電図、心呼音聴取の順に多く、また心肺停止者に施す処置では、心肺蘇生が109件(うち自動心臓マッサージ器によるものは82件)、除細動が8件、救急救命士が医師の指示を受けて行える救命処置では、器具による気道確保62件、心肺停止前静脈路確保37件、心肺停止後静脈路確保62件、薬剤投与(アドレナリン)26件、ブドウ糖投与7件などとなっている。

## 9. 自動車専用道の救急状況

自動車専用道の救急状況をみると、出場件数は5件で搬送人員は4人となっており、うち東北自動車道は出場件数2件、搬送人員2人、北部道路は出場件数3件、搬送人員2人となっている。事故種別では、交通事故が4件、搬送人員3人、急病が1件、搬送人員1人となっている。

## 10. PA連携出場・活動状況

PA連携出場は429件となった。事故種別でみると、急病が283件で最も多く、次いで交通事故が75件、一般負傷49件、自損行為が14件などとなっており、急病と交通事故への出場が358件(83.4%)で大部分を占めている。

また、ポンプ隊等が行った応急処置別実施件数をみると、血中酸素飽和度測定が49件、血圧測定43件、心肺蘇生28件、固定7件、止血5件などとなっている。

## 11. 救命講習普及啓発活動状況

救命講習受講状況をみると、実施回数は延べ41回（前年30回）で、受講人員は1062人（前年309人）となっている。受講人員数を月別にみると3月が330人で最も多く、次いで11月が249人、9月が245人と続いている。受講区分でみると、ジュニア講習が482人と最も多く、次いで事業所264人と続いている。

平成6年から始めた救命講習会についてみると、回数は延べで1,539回を数え、延べ受講者数は39,097人に達した。

### 【まとめ】

令和5年中の救急出場件数は4,542件、搬送人員は4,216人で、昨年と比較し出場件数は344件増加、搬送人員も306人増加となり、前年比で出場件数8.2%、搬送人員7.8%の増加となる。一日平均12.4件で約1時間56分に1件の割合で救急隊が出場し、住民22.2人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。市町村別では、富谷市が189件（9.7%）、大和町は76件（5.2%）、大郷町は90件（21.0%）それぞれ増加、大衡村は3件（0.1%）減少した。事故種別では急病、一般負傷、転院、交通事故、運動競技、自損は増加しており、自然災害、加害、その他は減少したものの件数自体が少ないことから今後も増減があると推測される。

救急出場件数自体は増加したがその中でも変化が見られた点として、入電から病院収容までの時間が前年比で2.5分短縮した。要因として令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行したことで、主に医療機関における発熱患者の救急受け入れ体制が緩和された影響であると考えられる。病院収容時間の短縮は医療機関における早期の根本治療開始に直結する為、今後も更なる時間短縮が課題である。また、5類感染症へ移行したとはいえ近年の異常気象に伴う熱中症の増加や、完全収束となっていない新型コロナウイルスの情勢を鑑みると、今後の救急件数についても増加傾向になるであろうと推測される。

本来の救命を目的とした救急業務に向けては、仙台・黒川メディカルコントロール体制を基盤とし、「指導救命士」による救急救命士の救命処置の向上と、研修・教育訓練の充実、実践をとおしての隊員の技術や資質向上を図り、救急救命士及び救急隊員の育成を計画的に行っていく。また、PA連携活動やドクターヘリを含めた関係医療機関との連携を充実させ、医療機関収容所要時間の短縮に努め、迅速・的確な搬送体制の整備を今後とも図っていく。更に、家庭・職場におけるバイスタンダーの普及啓発を引き続き推し進め、救急車到着までの『空白の時間』の傷病者管理、応急手当、救命処置がより高い確率で施され、救命率の向上が図れるよう住民と一体となった「安全・安心」な住みよい地域づくりを推進していく。

1. 事故種別月別出場状況

月別	事故種別 区分	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転	そ	計	不 搬 送
		災	然 災 害	難	通 事 故	働 災 害	動 競 技	般 負 傷	害	損 行 為	病	院	の 他		
1	出場件数	1			21	1		48	1	2	259	31	1	365	34
	搬送人員	1			17	1		46	1	2	233	32		333	
2	出場件数	1			11	2		48		2	233	36	2	335	33
	搬送人員				12	2		47		1	207	35		304	
3	出場件数	1			30	4	4	43		3	199	29		313	20
	搬送人員				31	4	4	39		1	190	29		298	
4	出場件数	5			13	5	2	45	3	7	221	32	1	334	19
	搬送人員	1			14	5	2	44	3	6	210	32		317	
5	出場件数	2			17	5	9	53		1	216	42	1	346	20
	搬送人員				16	5	9	50		1	203	42		326	
6	出場件数				23	4	4	41	2	1	234	35	1	345	20
	搬送人員				22	4	4	38	2	1	222	35		328	
7	出場件数				20	12	11	64		7	296	51	2	463	36
	搬送人員				18	12	11	61		3	274	51		430	
8	出場件数	2			24	17	6	39		7	341	54	2	492	49
	搬送人員				18	15	6	35		5	312	54		445	
9	出場件数	2			15	11	4	43		3	240	45	1	364	29
	搬送人員				14	11	4	40		2	220	45		336	
10	出場件数	3			35	4	2	56		5	247	48		400	32
	搬送人員	1			42	4	2	51		3	228	48		379	
11	出場件数				26	7	6	41	1	7	277	35	1	401	39
	搬送人員				24	6	6	40	1	7	248	35		367	
12	出場件数	1			18	2	1	58		5	252	43	4	384	33
	搬送人員				19	2	1	54		5	229	43		353	
計	出場件数	18 (16)	(6)		253 (241)	74 (74)	49 (48)	579 (557)	7 (11)	50 (42)	3,015 (2,726)	481 (456)	16 (21)	4,542 (4,198)	364 (320)
	搬送人員	3 (3)	(2)		247 (238)	71 (73)	49 (47)	545 (526)	7 (7)	37 (36)	2,776 (2,527)	481 (451)		4,216 (3,910)	

( )内は令和4年

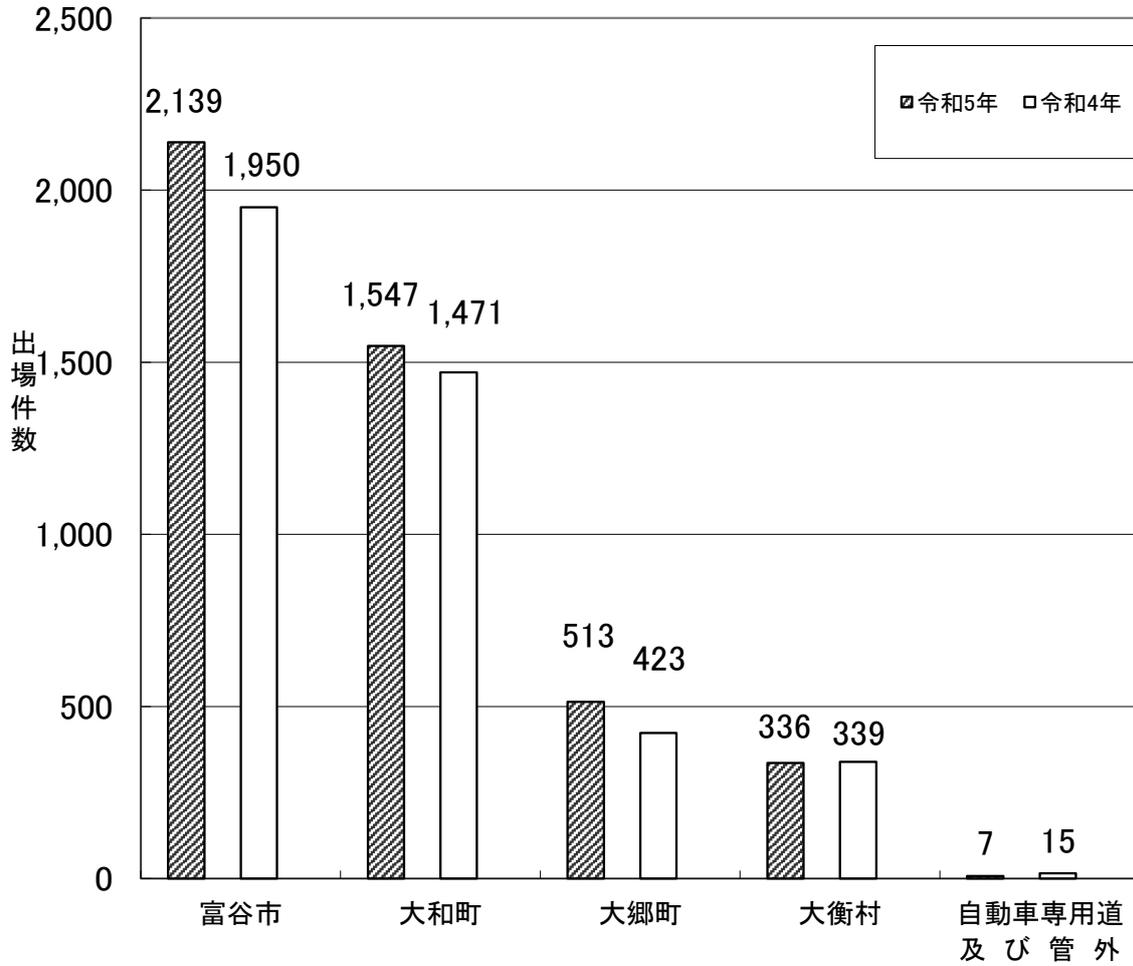
## 2. 事故種別市町村別出場状況

事故種別	市町村別 区分	富	大	大	大	自動車専用道 及び管外	計
		谷 市	和 町	郷 町	衡 村		
火 災	出 場 件 数	6	3	7	2		18
	搬 送 人 員		1	1	1		3
自然災害	出 場 件 数						
	搬 送 人 員						
水難事故	出 場 件 数						
	搬 送 人 員						
交通事故	出 場 件 数	101	76	35	36	5	253
	搬 送 人 員	104	71	33	36	3	247
労災事故	出 場 件 数	18	28	12	16		74
	搬 送 人 員	17	26	12	16		71
運動競技	出 場 件 数	21	19	8	1		49
	搬 送 人 員	21	19	8	1		49
一般負傷	出 場 件 数	301	173	61	44		579
	搬 送 人 員	284	160	58	43		545
加 害	出 場 件 数	2	4	1			7
	搬 送 人 員	2	4	1			7
自損行為	出 場 件 数	21	21	7	1		50
	搬 送 人 員	14	15	7	1		37
急 病	出 場 件 数	1,407	1,017	357	232	2	3,015
	搬 送 人 員	1,302	930	336	206	2	2,776
転 院	出 場 件 数	255	200	23	3		481
	搬 送 人 員	256	199	23	3		481
そ の 他	出 場 件 数	7	6	2	1		16
	搬 送 人 員						
計	出 場 件 数	2,139 (1,950)	1,547 (1,471)	513 (423)	336 (339)	7 (15)	4,542 (4,198)
	搬 送 人 員	2,000 (1,815)	1,425 (1,358)	479 (394)	307 (329)	5 (14)	4,216 (3,910)
不 搬 送		156 (140)	130 (122)	39 (30)	37 (23)	2 (5)	364 (320)

( )内は令和4年

### 3. 市町村別出場状況

## 市町村別出場状況



市町村別区分	富谷市	大和町	大郷町	大衡村	自動車専用道及び管外	計
出場件数	2,139	1,547	513	336	7	4,542
搬送人員	2,000	1,425	479	307	5	4,216
人口	52,418	27,964	7,584	5,569		93,535
世帯数	20,433	12,427	2,800	2,102		37,762
総人口に対する搬送割合	26.2人に1人	19.6人に1人	15.8人に1人	18.1人に1人		22.2人に1人
総世帯に対する出場割合	9.6世帯に1件	8世帯に1件	5.5世帯に1件	6.3世帯に1件		8.3世帯に1件

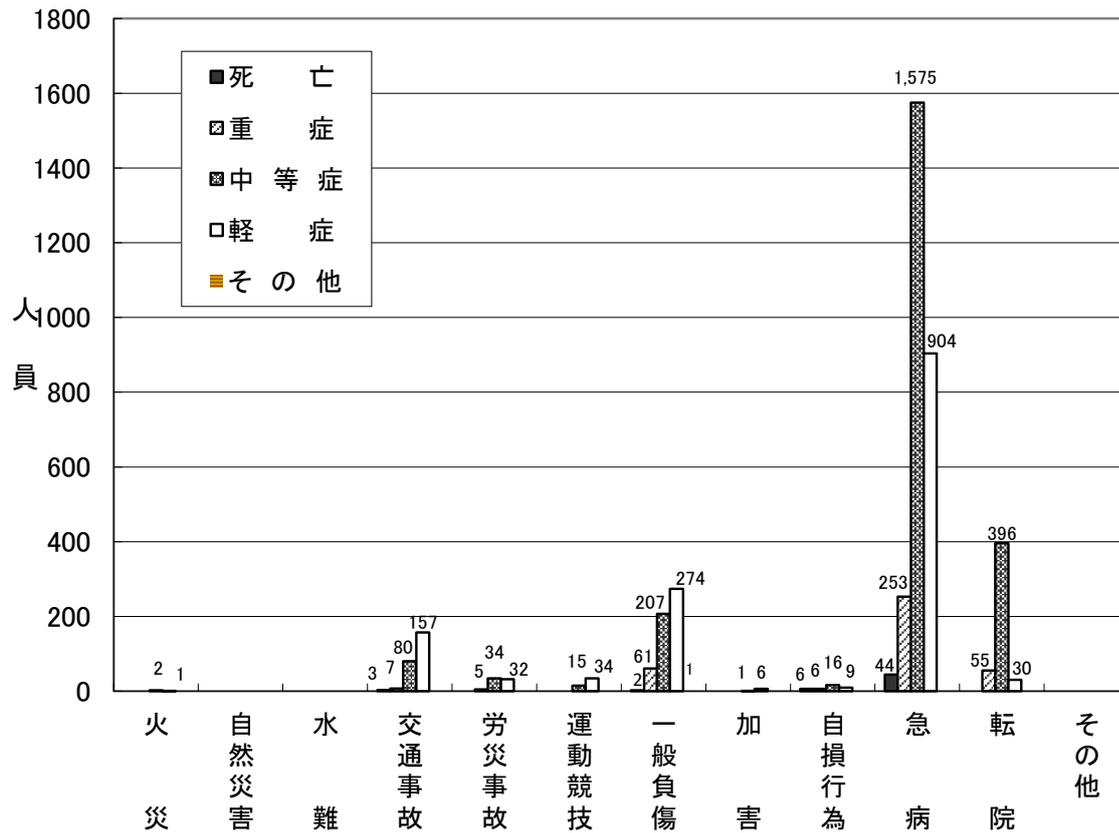
※ 人口・世帯数は令和5年12月末現在

#### 4. 事故種別曜日別出場状況

事故種別	曜日別区分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
		日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
火災	出場件数	3		3	2	3	3	4	18
	搬送人員			1			2		3
自然災害	出場件数								
	搬送人員								
水難事故	出場件数								
	搬送人員								
交通事故	出場件数	34	23	36	28	49	48	35	253
	搬送人員	30	24	32	28	50	53	30	247
労災事故	出場件数	2	11	21	14	11	4	11	74
	搬送人員	2	11	19	14	11	4	10	71
運動競技	出場件数	20	7	3	1	4	3	11	49
	搬送人員	20	7	3	1	4	3	11	49
一般負傷	出場件数	87	78	75	73	84	81	101	579
	搬送人員	82	72	72	69	78	76	96	545
加害	出場件数		1	1	1	1	1	2	7
	搬送人員		1	1	1	1	1	2	7
自損行為	出場件数	7	4	10	6	7	6	10	50
	搬送人員	5	3	9	3	4	6	7	37
急病	出場件数	476	462	445	407	423	396	406	3,015
	搬送人員	432	423	416	373	389	365	378	2,776
転院	出場件数	16	88	83	66	76	101	51	481
	搬送人員	16	88	83	67	76	100	51	481
その他	出場件数		5	1	1	2	3	4	16
	搬送人員								
計	出場件数	645 (584)	679 (627)	678 (620)	599 (591)	660 (587)	646 (603)	635 (586)	4,542 (4,198)
	搬送人員	587 (536)	629 (586)	636 (591)	556 (548)	613 (544)	610 (565)	585 (540)	4,216 (3,910)
不搬送		61 (52)	56 (43)	45 (35)	49 (48)	51 (46)	49 (45)	53 (51)	364 (320)

( )内は令和4年

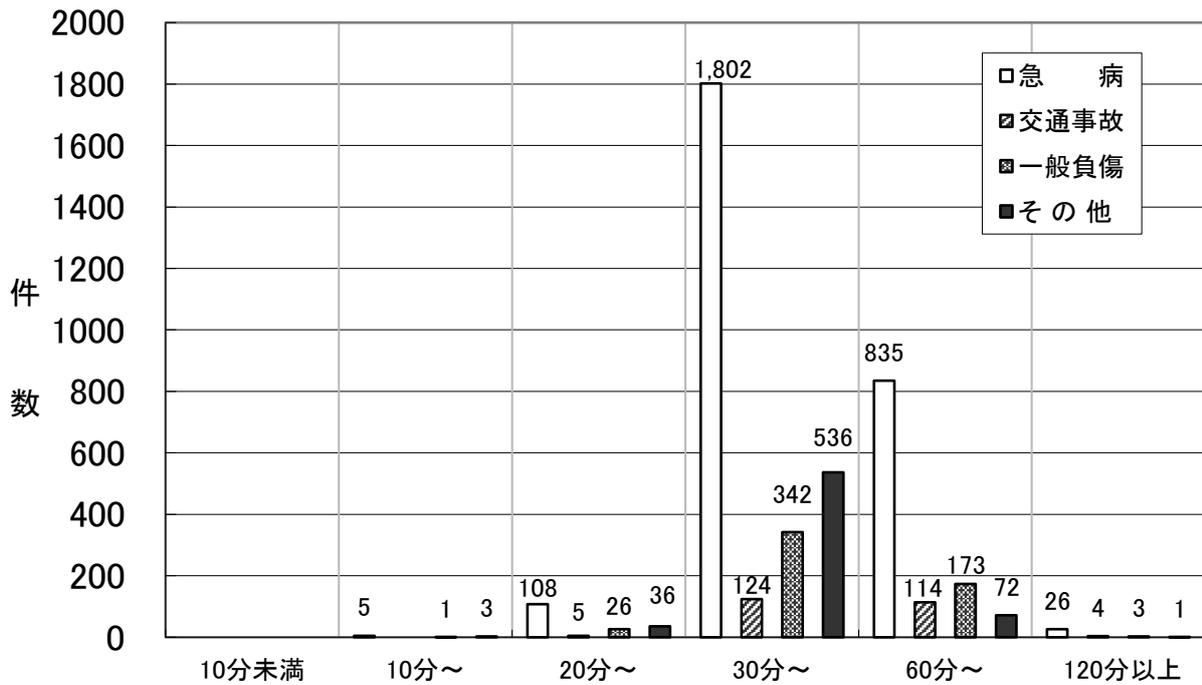
5. 事故種別傷病程度別搬送人員状況



事故種別 \ 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労災事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他	計
死亡				3			2		6	44			55 (46)
重症				7	5		61		6	253	55		387 (383)
中等症	2			80	34	15	207	1	16	1,575	396		2,326 (2,108)
軽症	1			157	32	34	274	6	9	904	30		1,447 (1,373)
その他							1						1
計	3 (3)	(2)		247 (238)	71 (73)	49 (47)	545 (526)	7 (7)	37 (36)	2,776 (2,527)	481 (451)		4,216 (3,910)

( )内は令和4年

6. 事故種別收容所要時間別搬送人員状況



時間別 事故種別	入電から医療機関等に收容した時間別人員							計	收容平均 所要時間(分)
	10分未満	10分~	20分~	30分~	60分~	120分 以上			
急病		5	108	1,802		835	26	2,776	54.5 (57.6)
交通事故			5	124		114	4	247	59.8 (61.3)
一般負傷		1	26	342		173	3	545	54.1 (56.5)
その他		3	36	536		72	1	648	45.3 (46.8)
計	0	9	175	2,804		1,194	34	4,216	53.4 (55.9)

( )内は令和4年

7. 管内管外別医療機関等搬送状況

区分	黒川管内	管 外				小計	計
		仙台管内	塩釜管内	大崎管内	その他の地域		
搬送件数	626 (494)	3,306 (3,091)	46 (63)	175 (186)	25 (20)	3,552 (3,360)	4,178 (3,854)
搬送人員	633 (503)	3,334 (3,129)	47 (63)	177 (195)	25 (20)	3,583 (3,407)	4,216 (3,910)

( )内は令和4年

8. 救急隊員の行った応急処置の状況

事故種別 応急処置種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	令和4年
応急処置対象人員	2,776	247	545	648	4,216	(3,906)
止血	26	39	117	29	211	(202)
固定	4	87	56	26	173	(228)
人工呼吸	6				6	(4)
胸骨圧迫	2				2	(1)
心肺蘇生	93	3	6	7	109	(102)
うち自動心マッサージ器	67	3	6	6	82	(80)
酸素吸入	589	16	45	139	789	(771)
気道確保	118	3	9	9	139	(147)
うち経鼻エアウェイ						
うち異物除去	3	1			4	(5)
*うちラリングル等	50	2	3	5	60	(47)
*うち気管挿管	1		1		2	(5)
保温・冷却	17	1	5	5	28	(74)
被覆	10	55	142	38	245	(244)
在宅療法継続	38		7	7	52	(35)
除細動	8				8	(11)
血糖測定	25				25	(19)
*心肺停止前静脈路確保	31	2	3	1	37	(27)
*心肺停止後静脈路確保	53	2	3	4	62	(40)
*アドレナリン投与	23	1	1	1	26	(30)
*ブドウ糖投与	7				7	(1)
血圧測定	2,546	237	489	629	3,901	(3,629)
心呼音聴取	1,297	117	110	213	1,737	(1,885)
血中酸素飽和度	2,695	243	532	636	4,106	(3,816)
心電図	2,392	118	308	494	3,312	(3,089)
その他	2,698	241	537	635	4,111	(3,805)
計	12,678 (11,785)	1,165 (1,175)	2,370 (2,360)	2,873 (2,840)	19,086	(18,160)

\* 部分については、救急救命士が医師の指示を受けて行った救命処置 ( )内は令和4年

9. 年次別自動車専用道救急状況

年 別	事 故 種 別	交通事故		急 病		一般負傷		そ の 他		計	
		出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員
昭和51年 から平成 17年まで	上り線	122	167	72	66	14	14	6	1	214	248
	下り線	249	365	59	54	8	7	8	3	324	429
18年	上り線	3	3	5	5					8	8
	下り線	8	3	6	1	6	1	2		8	4
19年	上り線	3	6	6	6	1	1			10	13
	下り線	5	2	8	2	8	1	2	2	5	5
20年	上り線	3	2	2	2	1	1			6	5
	下り線	6	3	5	3	5	1	1		6	6
21年	上り線	4	4	5	5	1	1	2		8	6
	下り線	4	4	1	6	1	1	1	3	6	5
22年	上り線	4	3	1	1					5	4
	下り線	4	3	1	2	1	1			1	1
23年	東北道	10	13	7	6					17	19
	北部道路	10	13	7	6					17	19
24年	東北道	12	10	3	3			1	1	16	14
	北部道路	1	1	11	3	3	3		1	1	1
25年	東北道	6	7	6	6			2	2	14	13
	北部道路	1	1	8	6	6	6			1	1
26年	東北道	5	8	5	5			1	1	11	13
	北部道路	3	3	11	5	5	5			3	3
27年	東北道	7	6	2	1	1	1	2	1	12	9
	北部道路	9	3	9	1	3	1	1	2	3	4
28年	東北道	7	8	1	1			1	2	8	8
	北部道路	7	1	8	1	1	1	1		2	1
29年	東北道	9	9	3	3			3	4	15	12
	北部道路	9	9	3	3	3	3	1		1	16
30年	東北道	5	5	2	2			1	1	8	7
	北部道路	5	5	2	2	2	2			1	1
令和 元年	東北道	3	3	1	1			1	2	5	4
	北部道路	5	1	4	1	1	1	1		3	1
令和 2年	東北道	1	2	2	2			3	3	6	4
	北部道路	3	2	4	2	2	2			2	2
令和 3年	東北道	3	5	2	2					5	7
	北部道路	4	1	6	2	2	2			1	1
令和 4年	東北道	7	10	1	1	1	1	1	2	10	12
	北部道路	3	1	11	2	2	1	1	1	5	2
令和 5年	東北道	1	1	1	1					2	2
	北部道路	4	2	3	1	1	1			3	2
計	東北道	474	645	193	180	28	27	35	6	730	858
	北部道路	18	15	3	3	183	28	4	6	25	18

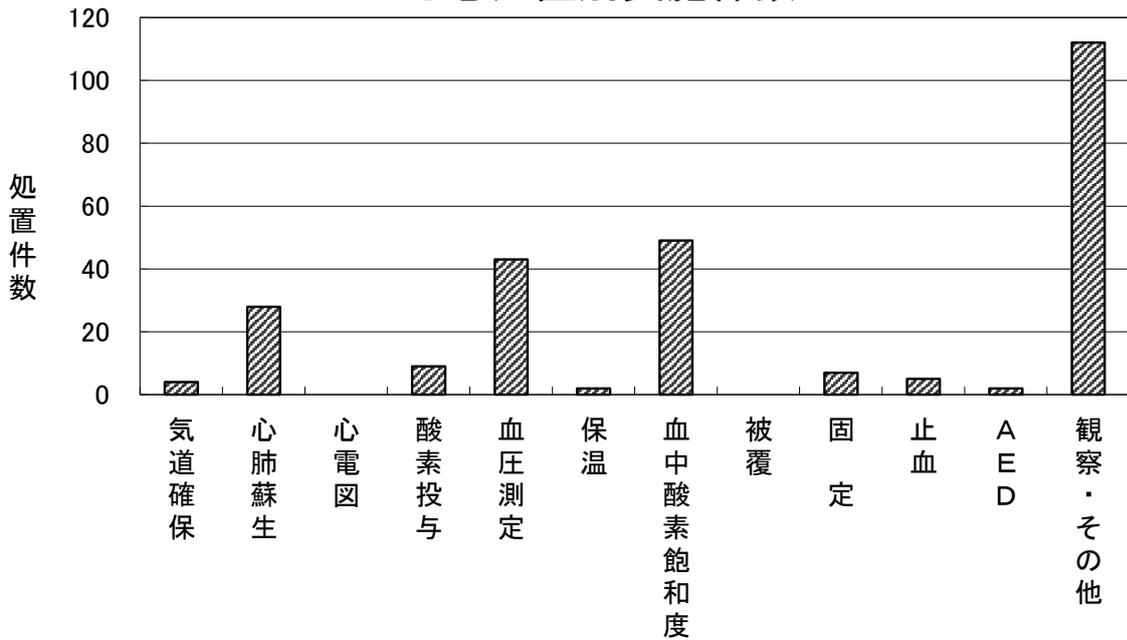
※平成22年から仙台北部道路開通により東北道上下線の区別から各自動車専用道路の出場件数、搬送人員を表示

10. PA連携出場状況

区分 市町村別	出場件数	事故種別							出場基準別				
		急病	交通	一般負傷	自損行為	労働災害	運動競技	その他	計	CPA (心肺停止)	二次災害防止	隊長要請	その他
富谷市	164	104	29	20	8	1		2	164	46	27	13	78
大和町	137	95	19	15	5	3			137	51	20	6	60
大郷町	70	51	12	5	1	1			70	20	7	3	40
大衡村	54	33	11	9				1	54	18	10	1	25
自動車専用道 及び管外	4		4						4		4		
計	429	283	75	49	14	5	0	3	429	135	68	23	203

11. PA連携活動状況

応急処置別実施件数



応急処置種別	気道確保	心肺蘇生	心電図	酸素投与	血圧測定	保温	血中酸素飽和度	被覆	固定	止血	AED	観察・その他	計
実施件数	4	28		9	43	2	49		7	5	2	112	261

※ポンプ隊等が行った応急処置実施件数

## 12. 救命講習普及啓発活動状況

月別	区分 回数 人員	上級講習	講ジュニア	自治会	学校等	PTA	事業所	婦人防火 クラブ等	消防団	その他	講普及員	計
1	回数						1			1		2
	人員						12			3		15
2	回数						2			1		3
	人員						23			5		28
3	回数		1		3		1			2		7
	人員		161		147		11			11		330
4	回数									1		1
	人員									10		10
5	回数									1		1
	人員									1		1
6	回数						2			2		4
	人員						29			16		45
7	回数				1		2			1		4
	人員				27		21			2		50
8	回数									1		1
	人員									9		9
9	回数		2				4			1		7
	人員		143				92			10		245
10	回数	1					2					3
	人員	20					26					46
11	回数		1				2	1		2		6
	人員		178				30	22		19		249
12	回数				1		1					2
	人員				14		20					34
計	回数	1	4		5		17	1		13		41
	人員	20	482		188		264	22		86		1,062

※ 上級講習とは、8時間の救命の総合的な講習をいう。

※ ジュニア講習とは、中学生等を対象とした90～120分の短時間講習をいう。

※ 普及員講習とは、所属する事業所等で行う普通救命講習会で指導者となるための24時間講習をいう。

上記※以外は、3時間の普通救命講習をいう。

13. 年次別救命講習普及啓発活動状況

年別	区分		上級講習	ジュニア 講習	自治会	学校等	PTA	事業所	ク ラ ブ 等	婦 人 防 火	消 防 団	そ の 他	講 普 及 員 習 員	計
	回数	人員												
H6~ H17	回数				12	64	9	110	118	21	61			395
	人員				223	3,350	213	2,800	2,458	597	1,638			11,279
H18	回数				4	18		28	8	2	8			68
	人員				73	711		578	214	61	198			1,835
H19	回数				1	13	2	23	11	2	19			71
	人員				23	513	48	436	236	55	274			1,585
H20	回数				3	18	2	32	5	1	15			76
	人員				68	889	44	613	96	35	185			1,930
H21	回数				3	23		31	8	4	14			83
	人員				57	973		675	159	88	219			2,171
H22	回数		2	1	15	2	24	6	1	13				64
	人員		178	25	506	37	427	164	42	193				1,572
H23	回数	2	2	1	12		22	10	2	9				60
	人員	33	74	17	529		350	265	52	204				1,524
H24	回数	2		2	17		28	6	1	14				70
	人員	24		52	775		602	117	39	263				1,872
H25	回数	2		6	13		36	7		8				72
	人員	11		73	637		687	193		89				1,690
H26	回数	3	1	2	15		41	6	1	7	1			77
	人員	33	151	44	852		778	134	34	39	11			2,076
H27	回数	1	2		8	1	52	7	1	9				81
	人員	13	222		468	22	1,041	214	36	92				2,108
H28	回数		1	1	13		25	5	2	21				68
	人員		169	17	625		543	143	22	226				1,745
H29	回数	1	1	1	20		38	5	1	14				81
	人員	5	165	8	798		863	138	9	111				2,097
H30	回数	1	1		11	2	39	3		18				75
	人員	3	165		512	18	719	83		199				1,699
R元	回数	1	2	2	17		31	6		18				77
	人員	16	234	38	530		606	223		236				1,883
R2	回数	1			3		23	2		4				33
	人員	12			113		345	47		23				540
R3	回数	1					7			7	2			17
	人員	5					80			26	9			120
R4	回数	2		2	8		11			7				30
	人員	19		38	93		117			42				309
R5	回数	1	4		5		17	1		13				41
	人員	20	482		188		264	22		86				1,062
計	回数	18	16	41	293	18	618	214	39	279	3			1,539
	人員	194	1,840	756	13,062	382	12,524	4,906	1,070	4,343	20			39,097

## 令和5年の救助概要

令和5年中における救助活動の状況をみると、救助出場件数は58件、救助活動件数は33件、救助人員は35人となっており、前年と比較すると出場件数で26件、活動件数で14件、救助人員では16人と減少した。

### 1. 事故種別月別救助出場・活動状況

救助出場・活動の状況を事故種別でみると、救助出場件数で最も多かったのは交通事故の27件（46.6%）、次いでその他の事故が19件（32.8%）、建物等による事故が11件（19.0%）となっている。

また、活動件数・救助人員をみると、交通事故は活動件数が17件で18人が救助され、その他の事故が9件で同9人、建物等による事故が6件で同7人となっている。

次に救助出場件数を月別にみると、8月が9件（15.5%）と最も多く、次いで6月、11月が各7件（各12.0%）、1月が6件（10.3%）などとなっている。

また、活動件数・救助人員をみると、6月が活動件数5件、救助人員が6人と最も多く、次いで8月が5件で同5人、1月、10月がそれぞれ4件で同4人などとなっている。

### 2. 市町村別救助出場・活動状況

救助出場件数を市町村別にみると、富谷市が23件（39.6%）で最も多く、次いで大和町が19件（32.8%）、大郷町、大衡村が各8件（各13.8%）となっている。

また、活動件数・救助人員をみると、大和町が13件で救助人員14人、富谷市が12件で同13人、大郷町、大衡村が各4件で同4人となっている。

### 3. 曜日別救助状況

救助出場件数を曜日別にみると、火曜日、木曜日、金曜日が各10件（各17.2%）で最も多く、次いで水曜日が9件（15.5%）、月曜日が8件（13.8%）、土曜日が6件（10.4%）、日曜日が5件（8.7%）となっている。

### 4. 救出所要時間別状況

活動件数のうち、救助完了した33件を時間別（覚知から救出までに要した時間）にみると、「10分～20分未満」が16件（48.5%）と最も多く、次いで「20分～30分未満」が10件（30.3%）、「10分未満」が6件（18.2%）、「60分～120分未満」が1件（3.0%）となっている。

## 5. 傷病程度別状況

救助し救急搬送した23人の内訳を医療機関等の初診時傷病程度別にみると、軽症が7人、中等症が10人、重症が2人、死亡4人となっている。  
(不搬送とした12人は含まない)

### 【まとめ】

令和5年中の救助出場件数は58件で、救助活動件数は33件、救助人員は35人となり、前年比で出場件数、活動件数、救助人員のいずれも減少となった。

事故種別でみると、交通事故が前年に引き続き多く発生している。交通事故による救助は管内の交通量の増加などが要因と考えられ、事故車両内への閉じ込めは二次的災害の危険度も高く、より安全で迅速な救出活動が求められる。また、建物等による事故では、建物の入り口が施錠されて安否確認が出来ないなどの事故が多く発生している。更に多種多様な機械による事故も想定され、いざ発生すれば重大事故につながる可能性が高いことから、機械の特性や構造の知識を習得し、各隊との連携を図り早急な救助方法を検討しておくなどの対応が求められる。

管内においては大規模企業、工場の進出によって、災害も複雑多様化し救出困難事案も予測されることから、常日頃より過去の事例等を教訓として、潜在的危険性などを事前に把握し、検討しておくことが求められる。また、近年の自然災害は地震をはじめ、台風による風水害はもちろん、短時間における集中豪雨が起因の土砂災害、竜巻など様々である。これら災害に対応すべく消防防災機関として、地域住民の安全・安心を守るうえで防災航空隊、ドクターヘリなど各関係機関との連携は必須である。特に大規模災害による被害に対する緊急消防援助隊としての出場も含め、速やかな連絡体制をもって、要救助者等の迅速な救出・救護を図っていくためには、職員一人ひとりが危機意識をもって消防・救助に必要な体力・技術・知識の習得に努めていくことが、非常に重要である。

1. 事故種別月別救助出場・活動状況

月 別	事故種別	火	交	水	自	事	よ	酸	破	そ	計
		災	通	難	然	機	建	ガ	裂	の	
			故	事	災	械	る	ス	事	他	
					害	に	物	事	故		
						よ	事	及	事		
						る	等	故	故		
						故	に				
1 月	出場件数		5				1				6
	活動件数		3				1				4
	救助人員		3				1				4
2 月	出場件数		1				1			2	4
	活動件数		1				1			1	3
	救助人員		1				1			1	3
3 月	出場件数		1							3	4
	活動件数		1							2	3
	救助人員		1							2	3
4 月	出場件数		2				1			2	5
	活動件数		1				1			1	3
	救助人員		1				1			1	3
5 月	出場件数		2				2			1	5
	活動件数		1				1			1	3
	救助人員		1				1			1	3
6 月	出場件数		3	1			1			2	7
	活動件数		3	1						1	5
	救助人員		4	1						1	6
7 月	出場件数		1							2	3
	活動件数										
	救助人員										
8 月	出場件数		6				2			1	9
	活動件数		4				1				5
	救助人員		4				1				5
9 月	出場件数									1	1
	活動件数										
	救助人員										
10 月	出場件数		2							3	5
	活動件数		1							3	4
	救助人員		1							3	4
11 月	出場件数		3				3			1	7
	活動件数		2				1				3
	救助人員		2				2				4
12 月	出場件数		1							1	2
	活動件数										
	救助人員										
計	出場件数		27	1			11			19	58
	活動件数		17	1			6			9	33
	救助人員		18	1			7			9	35
令和 4年	出場件数	1	33	1	5	2	12			30	84
	活動件数	1	17	1	3	1	8			16	47
	救助人員	1	21	1	4	1	7			16	51

## 2. 事故種別市町村別救助出場・活動状況

事故種別 市町村別		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	る 機 械 に 故 よ	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸 ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他	計
富谷市	出場件数		6	1			6			10	23
	活動件数		4	1			3			4	12
	救助人員		4	1			4			4	13
大和町	出場件数		10				4			5	19
	活動件数		7				2			4	13
	救助人員		8				2			4	14
大郷町	出場件数		6							2	8
	活動件数		3							1	4
	救助人員		3							1	4
大衡村	出場件数		5				1			2	8
	活動件数		3				1				4
	救助人員		3				1				4
自動車 専用道 管外	出場件数										
	活動件数										
	救助人員										
計	出場件数		27	1			11			19	58
	活動件数		17	1			6			9	33
	救助人員		18	1			7			9	35
令和 4年	出場件数	1	33	1	5	2	12			30	84
	活動件数	1	17	1	3	1	8			16	47
	救助人員	1	21	1	4	1	7			16	51

## 3. 事故種別曜日別救助出場状況

事故種別 曜日別		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	る 機 械 に 故 よ	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸 ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他	計
日曜日			3	1						1	5 (9)
月曜日			2				3			3	8 (13)
火曜日			6				1			3	10 (10)
水曜日			2				3			4	9 (13)
木曜日			4				3			3	10 (18)
金曜日			8							2	10 (9)
土曜日			2				1			3	6 (12)
計		(1)	(33)	(1)	(5)	(2)	(12)			(30)	(84)

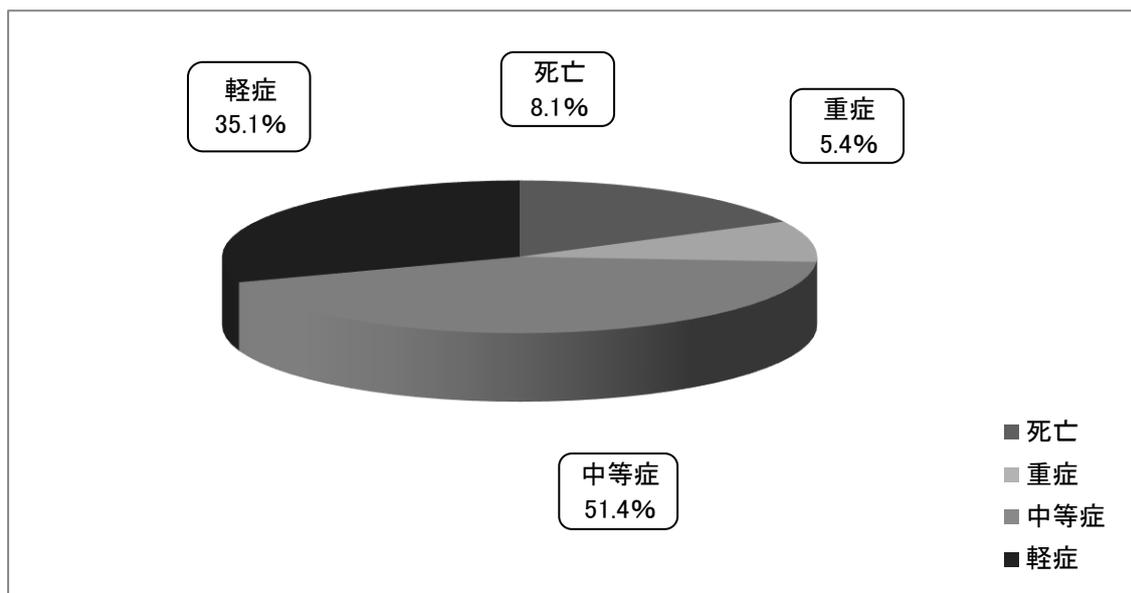
( )内は令和4年

#### 4. 救出所要時間状況

区分 事故種別	覚知から救出までに要した時間（件数）						計
	10分未満	10分～ 20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分～ 120分未満	120分以上	
火災							
交通事故	4	7	5		1		17
水難事故			1				1
自然災害							
機械による 事故							
建物等による 事故		3	3				6
ガス及び酸欠 事故							
破裂事故							
その他	2	6	1				9
計	6 (3)	16 (21)	10 (12)	(7)	1 (4)		33 (47)

( )内は令和4年

#### 5. 傷病程度別状況



傷病程度	死亡	重症	中等症	軽症	計
人員	4	2	10	7	23

※円グラフ・表には、救急隊にて不搬送判断した症例(12名)は含まず。  
11名の内訳:救急隊にて「明らかに死亡」と判断⇒6名、救助者ケガ等なし⇒6名。